

2015 年秋季講演会「若手セミナー」アンケート実施報告



若手支援・男女共同参画委員会
藪崎志穂^{※1}、伊藤浩子^{※2}、安元 純^{※3}、野原慎太郎^{※4}、
吉岡真弓^{※5}、柏谷公希^{※6}、中屋眞司^{※7}

1. はじめに

平成 27 年 10 月 22 日(木)～24 日(土)にかけて、福井県大野市の多田記念大野有終会館(結とぴあ)にて開催された地下水学会秋季講演会において、22 日の 11:00～13:50 の時間帯で若手セミナーを開催した。昨年と同様、会場でアンケートを配布し、参加者に回答していただいたので、その集計結果について報告する。

2. アンケートの内容

実施したアンケートの内容は以下の通りである。

1. 若手セミナーについて

- 1) 本日の若手セミナーが開催されることを何で知りましたか？(複数回答可)
- 2) 参加した理由は何ですか？(複数回答可)
- 3) 本日のプログラムの内容はいかがでしたか？
- 4) 本日の講演時間について
- 5) 今後も若手セミナーの開催を希望しますか？
- 6) 上記で 1. 2. 3. とご回答いただいた方へ、今後の若手セミナーの内容として魅力的だと感じるものをご回答ください(複数回答可)

2. 今後の若手支援に対する取り組みについて

- 1) 2015 年春季講演会では若手支援に対してどのような企画を希望しますか
- 2) 上記について、より具体的な提案がございましたらご記入ください
- 3) 今後、若手支援に対する取り組み(若手セミナーや交流会)の企画・運営に関わってみたいと思いますか。
- 4) 若手会員の育成・増員・学会の活性化に対する取り組み全般について、ご意見やご提案がございましたらご記入ください。

3. 回答者の会員種別、年齢、業種、専門分野(いずれも任意回答)

3. アンケートの結果

アンケートの回答者は 23 名であった。各質問の回答について、以下に紹介する。

1-1 は「知人や先生に誘われて」(34%)、「学会からの配信 E メール」(31%)、「学会のホームページ」(23%)、「その他」(12%)であった。1-2 は「テーマに興味があったから」(48%)が最も多く、「仕事や研究に役立つと思ったから」(38%)、「上司や先生に勧められたから」(10%)であった。

※1 福島大学

※2 地域 地盤 環境 研究所

※3 琉球大学

※4 電力中央研究所

※5 産業技術総合研究所

※6 京都大学

※7 信州大学

1-3 は「大変有意義であった」(68%)、「ある程度有意義であった」(27%)、「普通だった」(4%)で、多くのかたが有意義であったと回答している。1-4 は「適切であった」(91%)、「もっと短くても良い」(9%)で、大多数が適切であったと回答している。1-5 は「強く希望する」(52%)、「できれば希望する」(35%)、「どちらでも良い」(13%)で、今後も若手セミナーの開催を希望する意見が多く見受けられた。1-6 の回答には「地下水研究の意義や社会貢献の事例」(30%)、「地下水関連企業の取り組み」(24%)、「異分野の基礎講座」(16%)、「論文の書き方」(10%)などの回答が寄せられた(図1)。2-1 は「若手セミナー」(44%)、「交流会(ランチタイムに昼食を取りながら等)」(33%)、「レクリエーション」(11%)、「ポスター掲示による意見・情報交換」(7%)で、若手セミナーあるいは交流会の開催希望が多く寄せられた。具体的な案としては(2-2)、「社会要請に応えられるような内容」や、「事前の懇親会等で交流を深めておくと議論がしやすくなる」などの回答があった。2-3 では「ぜひ積極的に関わってみたい」(4%)、「機会があれば関わってみたい」(66%)、「興味はあるが難しい」(14%)、「企画・運営には興味が無い」(14%)で、若手支援の企画・運営に関わることを希望している方が多い一方で、時間が取れず難しいと感じている方もいるという状況である。2-4 では「できることは積極的に行ったほうが良い」や、「若手交流会では若手が発言しにくい雰囲気が多少あったように感じる」等の意見が寄せられた。3 の回答者の種別に関しては、「正会員」(43%)、「非会員」(39%)、「準会員」(4%)、「無回答」(13%)で、非会員からの回答も比較的多くなっている。年齢は「20代」(39%)、「30代」(22%)、「40代」(13%)、「50代」(0%)、「60代」(13%)、「70代」(9%)、「無回答」(4%)で、20~30代の若手の割合が高いが、幅広い世代の方々が参加している結果となった。

4. おわりに

今回実施したアンケートの結果から、若手支援の一環として、若手セミナーや交流会など、今後も継続して開催することを望む回答が多く寄せられた。こうした催しは、若手に向けた情報を入手したり、若手同志の交流を深めたりする良い機会であると共に、経験を積んだ先輩方の体験談を聞くことのできる場でもあり、委員会としてもぜひ継続的に開催してゆきたいと考えている。しかし、セミナーの内容については様々な意見が寄せられており、今後、どのような内容を取り上げるのかについては、更なる検討が必要であると感じた。また、現在は若手セミナー、交流会の企画・運営はYEPS委員会の委員が行っているが、今後は若手の意見を反映させるためにも、若手会員の積極的な企画・運営への参加を期待している。

最後にアンケートの回答にご協力くださった皆様に、厚くお礼申し上げます。

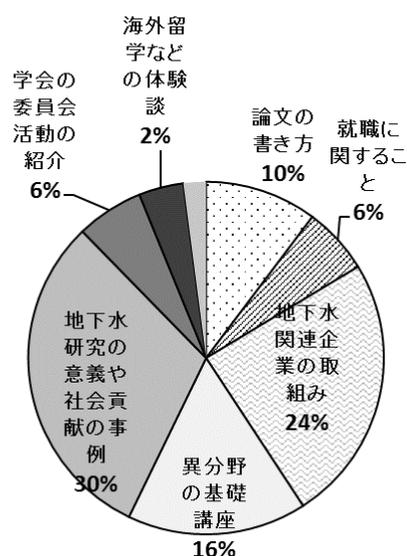


図1 問1-6の回答
(今後希望する若手セミナーの内容について)